

名画を まもれ！

少年^{ウキ}たんていの レンが 学校から 帰^{かえ}ると、
かいとうK^{ケイ}から よくくじょうが とびでて いたよ。

★お話を^{おはなし} 読んで、①②③の もんだいに 答^{こた}えよう。

かいとうK^{ケイ}の よくくじょうには、 つぎのように 書^かかれて いました。

「今夜^{こんや}八時^じに、びじゅつかんから 名画^{めいが}『青い バラ』を いただく。」

レンは けいさつに 電話^{でんわ}すると、びじゅつかんへ むかいました。

レンが びじゅつかんに ついたのは、六時半^{じはん}でした。

六時^じ五十分^{ぶん}に なると、けいさつかんが 大ぜい かけつけて きました。

レンは けいさつかんたちと 名画^{めいが}を 見^みはります。

七時^じ五十九分^{ぶん}に なった とき、とつぜん、電氣^{でん}が きえました。

数分^{すうぶん}後^ご、電氣^{でん}は つきましたが、名画^{めいが}が きえて、かくぶちだけに

なっ て いました！ てんじ室^{しつ}は 大さわぎです。

その とき、一人の けいさつかんが、

「けいさつに もちかえって しらべます。」

と、かべから かくぶちを はずしました。ところが、

「この 人が かいとうK^{ケイ}だ！」

と、レンが かくぶちを とりあげ、かくぶちの ガラスから シールを

はがしました。すると、名画^{めいが}が あらわれたでは ありませんか！

けいさつかんに へんそうした かいとうK^{ケイ}は、名画^{めいが}が

ぬすまれたように 見せかけ、もちだそうと したのです。

正体^{たいてい}が ばれた かいとうK^{ケイ}は、にげて いきました。



① かいとうK^{ケイ}の よくくじょうは 何時^{なんじ}でしょう。

② 電氣^{でん}が きえたのは、何時^{なんじ}何分^{なんぶん}でしょう。

③ かいとうK^{ケイ}は、だれに へんそうしましたか。

